

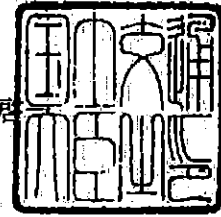


認定書

国住指第 1175 号
平成 28 年 8 月 9 日

積水化学工業株式会社
代表取締役社長 高下 貞二 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-0857
2. 認定をした構造方法等の名称
給水管・排水管／黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラス
クロス・シーリング材充てん／床準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

給水管・排水管／黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス・シーリング材充てん／床準耐火構造／貫通部分

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項目		仕様
開口部	形状	円形(φ78mm以下)
	面積	0.0048m ² 以下
配管と床との隙間の寸法 (クリアランス)	床上部	2~15mm
	床下部	0~15mm
占積率 (上部開口面積に対する配管断面積の割合)		85.3%以下
貫通する床の構造等		建築基準法施行令第129条の2の3第1項第一号ロの規定に基づく準耐火構造(60分)又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく耐火構造(60分) 厚さ233.5mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

項目	仕様		
熱膨張性シート1	材料	黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス	
	寸法	総厚さ：2.09mm以上 幅：50mm以上	
	設置箇所	配管被覆用(床下側)	
	基材	材料	アルミニウムはく張ガラスクロス
		厚さ	0.09~0.25mm
	シート	材料	黒鉛含有ブチルゴム
		厚さ	2.0mm以上
組成 (質量%)		組成は企業秘密とさせていただきます	
熱膨張性シート2	材料	黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス	
	寸法	総厚さ：1.09mm以上 幅：開口径+20mm以上	
	設置箇所	開口部被覆用(床下側)	
	基材	材料	アルミニウムはく張ガラスクロス
		厚さ	0.09~0.25mm
	シート	材料	黒鉛含有ブチルゴム
		厚さ	1.0mm以上
組成 (質量%)		組成は企業秘密とさせていただきます	
充てん材	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類：シリコーン系	
	設置箇所	床と配管のクリアランス(床上側)	
	充てん量	隙間に充てん(60g/m以上)	

表3 配管の仕様

項目	仕様				
給水管 ・ 排水管 (以下、配管 という)	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP, HIYP, HT) (JIS K 6741, JIS K 6742, JIS K 6776)	外径	φ26mm以下	厚さ	3.0mm以下
	ポリエチレン管 (JIS K 6769, JIS K 6787, JXPA401 (架橋ポリエチレン管工業会規格) 又はこれらの規格における引張降伏強さ、耐圧性、浸出性、隊塩素水性、ゲル分率の規定に適合する管)		φ27mm以下		3.55mm以下
	ポリブテン管 (JIS K 6778, JIS K 6792)		φ27mm以下		2.9mm以下
被覆材 (後付タイプ)	発泡ポリエチレン系	外径	φ48mm以下 (仕上り外径)	厚さ	10mm以下
	発泡架橋ポリエチレン系				
	発泡ポリウレタン系				
	発泡ポリスチレン系				
	発泡フェノール系				
	グラスウール (JIS A 9504)				
ロックウール (JIS A 9504)					

4. 副構成材料の仕様：
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目	仕様	
留付材	材料	①又は② ①ステーブル (鋼製) ②くぎ、ピン又はコンクリートビス (ワッシャー付、鋼製)
	寸法	①幅10×長さ10mm以上 ②φ2.1×長さ10mm以上
	留付箇所	4箇所以上
固定材	材料	あり又はなし ①～③のー ①結束バンド (樹脂製) ②絶縁テープ ③金属線 (被覆材：あり又はなし)
	寸法	①幅13mm以下 ②幅50mm以下 ③鉄線φ0.39以上
	固定箇所	必要に応じて、熱膨張性シート1の外周に巻き付ける
バックアップ材	材料	あり又はなし ①～③のー ①ポリエチレン系発泡材 ②ポリスチレン系発泡材 ③EPDM系発泡材
	厚さ	20mm以下
	密度	22 (±2.2) kg/m ³ 以下

5. 構造説明図：
構造説明図を図1に示す。

単位 mm

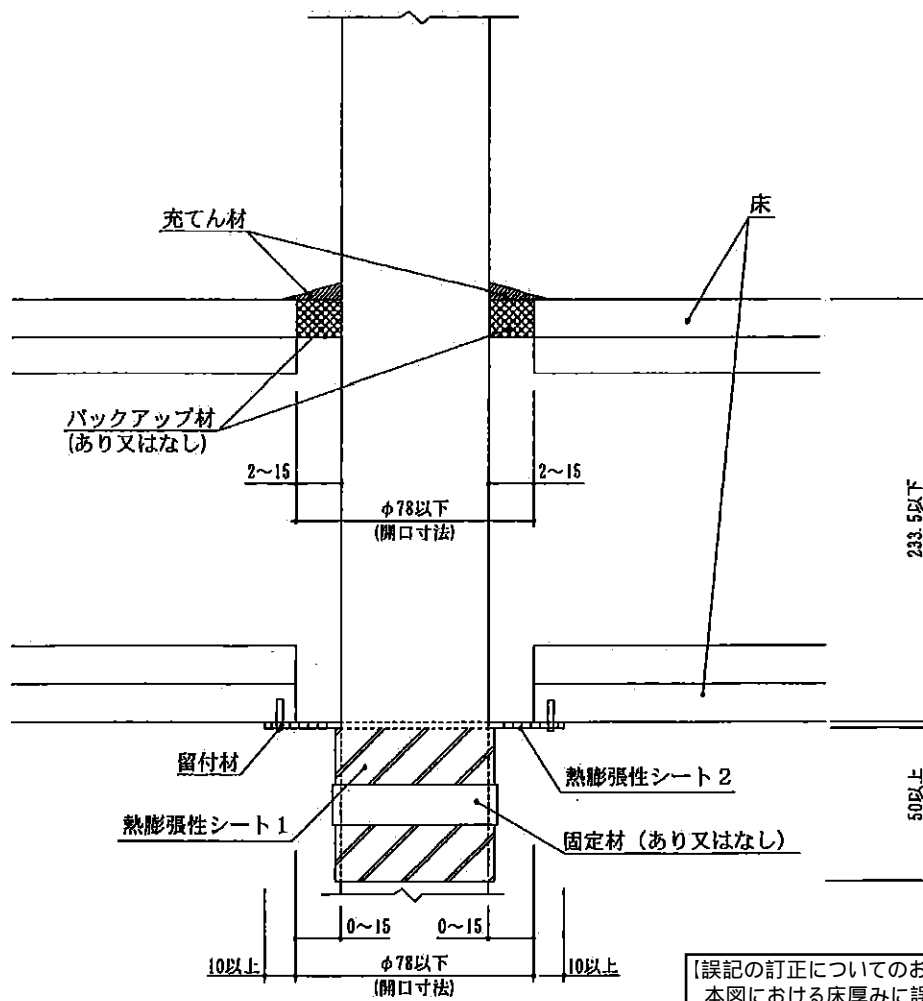
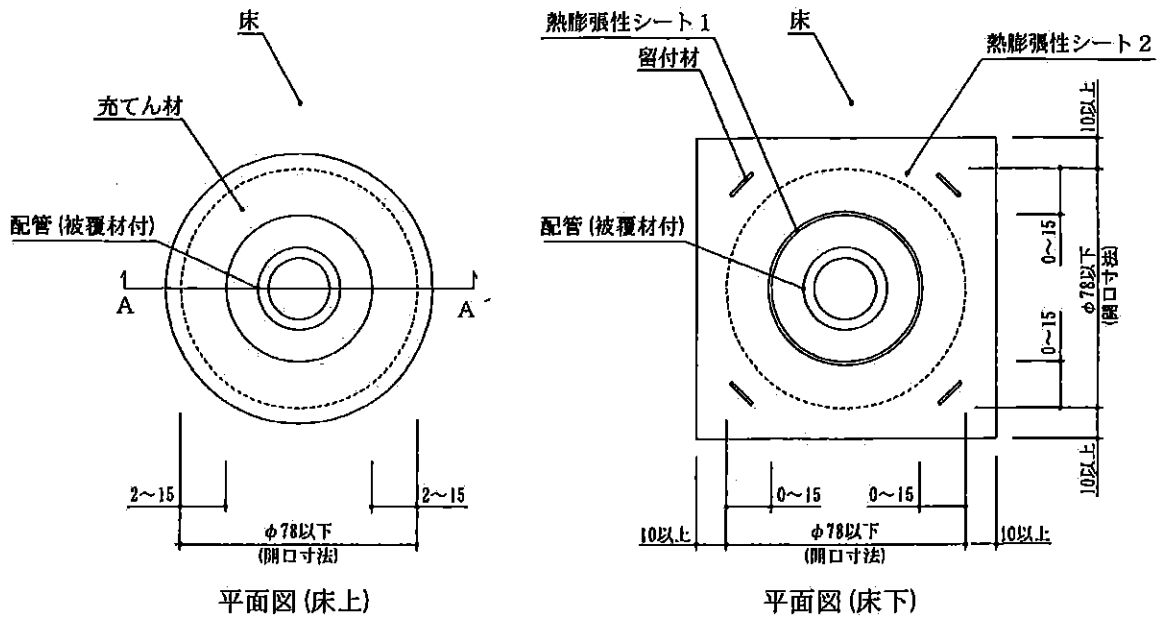


図1 構造説明図 (施工図)

【誤記の訂正についてのお知らせ】
 本図における床厚みに誤記載があります。
 誤: 233.5以下
 正: 233.5以上
 寸法等の仕様 (p1の表1) が正しい表記
 ですのであわせてご参照ください。

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 開口部の開口面積、配管寸法、占積率、床の仕様、床の厚さ等が仕様に適していることを確認する。
- (2) 開口部の周囲を清掃する。
- (3) 床下側
 - 1) 配管の配置・大きさに合わせて熱膨張性シート2に切り込みを入れる。
 - 2) 切り込みの終端を配管に貼りつける。(熱膨張性シート2は、開口の端から10mm以上、開口径+20mm以上の大きさとする。)
 - 3) 貼り付けた熱膨張性シート2を天井面にステーブルビス等で留め付ける。
 - 4) 熱膨張性シート2を施工後、熱膨張性シート1を電線管に巻き付ける。巻き付ける際は、固定材を用いても良い。

床上側

- 1) バックアップ材を使用しない場合
配管と開口部のクリアランスにシーリング材を60g/m以上となるように施工する。
- 2) バックアップ材を使用する場合
バックアップ材を床と管の間に挿入し、シーリング材を60g/m以上となるように施工する。
- (4) 配管と熱膨張性シート1及び2、配管と開口部とのクリアランスに隙間がないことを確認する。